

研究発表プログラム

(©代表研究者)

第1日目 6月24日(土)

- 9:00～ 開場(受付開始)
ポスター(◆P001～◆P045) 掲示作業
- 9:40～ 9:55 開会挨拶 吉田憲司(国立民族学博物館長)
園田直子(文化財保存修復学会第45回大会実行委員長)

セッションI

座長: 貴田啓子(東京藝術大学大学院)、池田和彦((株) 修護)

- 10:00～10:20 和紙用ネリの安定供給に向けた取り組み及びネリの各種物性に関する調査
◎西田典由(東京文化財研究所)、倉島玲央(東京文化財研究所)、長田雅弘(標津町役場)、
錦織正智(北海道立総合研究機構 森林研究本部 林業試験場)、鈴木三男(東北大学)、
早川典子(東京文化財研究所)
- 10:20～10:40 和紙抄造に利用されるトロロアオイの粘液研究 一種内変異、栽培土壌の影響—
◎嶋田千香(福井工業高等専門学校)、小越康宏(福井大学)、小越咲子(福井工業高等専門学校)、
田中琴子(福井大学)、笠松裕世(福井工業高等専門学校)、藤田克志(福井工業高等専門学校)
- 10:40～11:00 自然劣化紙の保存処理に適した微細セルロースファイバー調製法の開発
◎小瀬亮太(東京農工大学)、池田昌矢(東京農工大学)、曾我百夏(東京農工大学)、
岡山隆之(東京農工大学)、園田直子(国立民族学博物館)、関 正純(元 高知県立紙産業技術センター)、
横島文夫(キハラ・プリザベーション(株))
- 11:00～11:10 10分休憩

セッションII

座長: 中村力也(宮内庁正倉院事務所)、相澤邦彦(ヤマト運輸美術品ロジスティクスチーム)

- 11:10～11:30 生糸の抱合と画絹の性状に関する研究
◎京都絵美(東京藝術大学)、早川典子(東京文化財研究所)、山田祐子(東京文化財研究所)、
志村 明(勝山織物(株) 絹織製作研究所)、秋本賀子(勝山織物(株) 絹織製作研究所)
- 11:30～11:50 江戸中期の日本画に使用されたスマルトの蛍光X線分析法による組成解析
◎寺島 海(東京藝術大学大学院)、日比谷孟俊(実践女子大学)、貴田啓子(東京藝術大学大学院)
- 11:50～12:10 ワックス裏打ちされた油彩画における裏打ち布の部分剥離に関する画像調査
◎國方沙希(東京藝術大学大学院)、土屋裕子(東京藝術大学大学院)、
福永 香(国立研究開発法人 情報通信研究機構)
- 12:10～13:10 昼休憩
- 13:10～13:50 ポスターセッション/参加登録: 受付番号 奇数
- 13:50～14:30 ポスターセッション/参加登録: 受付番号 偶数
- 14:30～14:40 10分休憩

セッションⅢ

座長：荒井 経（東京藝術大学）、北村 繁（(同) 北村文化財漆工）

- 14:40～15:00 修理で明らかとなった葛蛇玉筆「鯉魚図」の特異な画法
◎高木叙子（滋賀県立安土城考古博物館）、坂田さとこ（(株) 坂田墨珠堂）、
佐藤麻衣子（(株) 坂田墨珠堂）
- 15:00～15:20 菱川師宣筆「立美人図」（江戸時代）の非破壊分析調査に基づく保存修復への課題
◎佐々木益（(株) 半田九清堂）、寺田 豊（(有) 京絞り寺田）、橋本 龍（林原美術館）、
槌田祐枝（林原美術館）、下山 進（デンマテリアル（株））
- 15:20～15:40 国宝「初音の調度」のうち、初音蒔絵書棚と胡蝶蒔絵書棚にみる木地構造・加工精度と
損傷の関係
◎大西智洋（大西漆芸修復スタジオ）、渡辺祐基（九州国立博物館）、吉川美穂（徳川美術館）、
川畑憲子（九州国立博物館）、志賀智史（九州国立博物館）、田中麻美（九州国立博物館）、
木川りか（九州国立博物館）
- 15:40～16:00 漆塗装時における水の接触が塗膜に与える影響
◎倉島玲央（東京文化財研究所）、佐藤則武（日光社寺文化財保存会）、早川典子（東京文化財研究所）
- 16:00～16:10 10分休憩

セッションⅣ

座長：加藤和歳（九州歴史資料館）、森井順之（奈良県文化・教育・くらし創造部文化資源活用課）

- 16:10～16:30 文化財としての富士塚の保存と修復
◎朽津信明（東京文化財研究所）
- 16:30～16:50 非接触 3D レーザー計測・情報処理システムを活用した石造五輪塔の刻銘の可視化
について 一京都市伏見区安楽寿院五輪塔（重要文化財）の調査から一
◎西村和也（KYOTO's 3D STUDIO（株））、栖原健太郎（デンカ（株））、
村口寿仁（京都府教育庁）
- 16:50～17:00 10分休憩
- 17:00～18:00 文化財保存修復学会 90 周年 / 日本文化財科学会 40 周年
記念対談「文化財研究の未来」
本田光子（文化財保存修復学会理事長）・今津節生（日本文化財科学会会長）
司会 日高真吾（文化財保存修復学会副理事長）
- 14:30～18:00 ポスター（◆ P001～◆ P045）撤去作業
- 18:15～19:00 ポスター（◇ P046～◇ P090）掲示作業

第2日目 6月25日(日)

9:00～ 開場(受付開始)
ポスター(◇P046～◇P090) 掲示作業

セッションV

座長: 早川典子(東京文化財研究所)、高嶋美穂(国立西洋美術館)

9:20～9:40 浮世絵に使用された膠に対するDNAバーコード技術を通じた動物種同定
◎押鐘浩之(大阪大学)、藤澤 明(帝京大学)、植月 学(帝京大学)、倉股春希(帝京大学)、橋場美穂(帝京大学)、甲斐由理子(JASSO 東京日本語教育センター)

9:40～10:00 正倉院染織品の絹タンパク質の分子量
◎中村力也(宮内庁正倉院事務所)

10:00～10:20 3次元蛍光分光法を用いた真珠の蛍光挙動についての検討
◎田澤沙也香((株)真珠科学研究所)、矢崎純子((株)真珠科学研究所)、松田泰典((株)真珠科学研究所)

10:20～10:40 赤外分光法による紙の化学的および物理的評価のためのXAI
◎小野慎之介(東洋美術学校)

10:40～10:50 10分休憩

10:50～12:20 総会

12:20～13:20 昼休憩

13:20～14:00 ポスターセッション/参加登録:受付番号 偶数

14:00～14:40 ポスターセッション/参加登録:受付番号 奇数

14:40～14:50 10分休憩

セッションVI

座長: 秋山純子(東京文化財研究所)、間瀬 創(国立文化財機構 文化財活用センター)

14:50～15:10 博物館の資料保存用中性紙箱の発ガスの改質における「通気枯らし法」の効果と試験の論証
◎LIU YINAN(筑波大学)、深見利佐子(筑波大学)、松井敏也(筑波大学)

15:10～15:30 バチカン図書館マリオ・マレガ資料の概要調査と調査を通じた保存管理に関する国際協力研究
◎青木 睦(国文学研究資料館)、
Ángela Núñez Gaitán (the Vatican Library and its Value for International Co-operation)、
太田尚宏(国文学研究資料館)

15:30～15:40 閉会挨拶 本田光子(文化財保存修復学会第45回大会実行副委員長)

14:40～16:00 ポスター(◇P046～◇P090) 撤去作業

ポスターセッション

(©代表研究者)

第1日目 6月24日(土)

- ◆ P001 エジプト、サッカラ地域における古代地下壁画の保存修復と岩盤の問題
◎吹田 浩(関西大学)、西浦忠輝(国土館大学)、アーデル アカリッシュ(エジプト国立研究センター)、アシュラフ エワイフ(エジプト考古評議会)、中村吉伸(大阪工業大学)、吹田真里子(関西大学)
- ◆ P002 千住博作「ウォーターフォール」の技法と修復
◎小谷野匡子((株) 絵画保存研究所)、大川美香((株) 絵画保存研究所)、福田 誠((株) 絵画保存研究所)、
- ◆ P003 現代美術における作品の同一性とその保存
—東京藝術大学蔵 川俣正《自画像》の保存修復事例
◎松永亮太(甲南学園長谷川三郎記念ギャラリー)、平諭一郎(東京藝術大学)
- ◆ P004 京都・浄瑠璃寺に伝来した十二神将立像に対する CT 調査と修理
◎鳥越俊行(東京国立博物館)、西木政統(東京国立博物館)、宮田将寛(東京国立博物館)、小池富雄(静嘉堂文庫美術館)、長谷川祥子(静嘉堂文庫美術館)、降幡順子(京都国立博物館)、池田素子(京都国立博物館)、浅見龍介(東京国立博物館)、浅湫 毅(京都国立博物館)
- ◆ P005 葛蛇玉筆 絹本着色「鯉魚図」3幅 修理報告 一画家と表具師との関わりをどう残すか
◎坂田さとこ((株) 坂田墨珠堂)、佐藤麻衣子((株) 坂田墨珠堂)、高木叙子(滋賀県立安土城考古博物館)
- ◆ P006 パリのポン=ヌフ橋整備修復工事および石材の入替とその後の経過観察
◎吉川也志保(二松学舎大学)
- ◆ P007 奈良県藤ノ木古墳出土品の再修理2年次の取り組み 一金銅履・冠・筒形品の再修理—
◎奥山誠義(奈良県立橿原考古学研究所)、河崎衣美(奈良県立橿原考古学研究所)、小倉頌子(奈良県立橿原考古学研究所)、中尾真梨子(奈良県立橿原考古学研究所)、水野敏典(奈良県立橿原考古学研究所)、青柳泰介(奈良県立橿原考古学研究所)、北井利幸(奈良県立橿原考古学研究所)、平井洸史(奈良県立橿原考古学研究所)、鈴木朋美(奈良県立橿原考古学研究所)、吉村和昭(奈良県立橿原考古学研究所)、伊東菜々子(奈良県立橿原考古学研究所)、横須賀倫達(文化庁)
- ◆ P008 大澤鉦一郎《その子》の保存修復事例
—ベニヤパネルに接着された両面に絵具層のある油彩画の分離処置報告—
◎寺田祐吉枝(杉並絵画修復工房)
- ◆ P009 戦後セメント彫刻の保存修復と活用 一堀内正和《横の作品》を一例にして—
◎橋口由依(神奈川県立近代美術館)
- ◆ P010 旧機那サフラン酒本舗鏝絵の保存状態調査
◎前川佳文(東京文化財研究所)、中山俊介(東京文化財研究所)、中村 舞(東京文化財研究所)、白石明香(東京文化財研究所)、津村泰範(長岡造形大学)
- ◆ P011 世界遺産カッパドキア・聖シメオン教会の壁画の保存修復：ヴァンダリズムに対するアプローチ
◎谷口陽子(筑波大学)、成田朱美(愛知県立芸術大学)、高橋香里(東京藝術大学)、柴田みな(東京文化財研究所)、菅原裕文(金沢大学)、Temur Hatice(Kültürve Turizm Bakanlığı, Nevşehir Restorasyonve Konservasyon Bölge Laboratuvarı Müdürlüğü)
- ◆ P012 高知県香南市まきでら長谷寺所蔵仁王像の修復と科学調査
◎松島朝秀(高知大学)、大山幹成(東北大学)、吉田安成(よしだ造佛所)

- ◆ P013 名古屋市美術館所蔵 油彩画「東山動物園猛獣画廊壁画」の調査及び修復報告
◎成田朱美(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、木島隆康(東京藝術大学)、井口智子(名古屋市美術館)、白河宗利(愛知県立芸術大学)、岩田明子(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、飯田穂野香(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、真崎 文(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、岩瀬月楓(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)
- ◆ P014 迎賓館赤坂離宮における天井画の保存修復の取り組み
—22号室天井画下地の新規パネル化について—
◎鈴嶋富士子(内閣府迎賓館)、田中真由(内閣府迎賓館)、藤原敦子(国土交通省)
- ◆ P015 黒森歌舞伎舞台幕のデジタル技術を駆使した修復及び新調プロジェクト
◎真柄亮太((株)サビア)、大嵩あすか((株)サビア)、奥村幸司((株)サビア)、五十嵐良弥(黒森歌舞伎妻堂連中)、福本潮子(藍染美術家)、川島崇史(酒田市教育委員会社会教育文化課文化財係)、佐治ゆかり(秋田公立美術大学美術教育センター美術学部)
- ◆ P016 保存修理報告 一甲斐善光寺 木造源頼朝・実朝像—
◎明珍素也((株)明古堂)、奥田重俊((株)明古堂)、河原佳幸((株)明古堂)、鈴木麻里子(山梨県文化財保護審議会委員)、川瀬由照(早稲田大学)、志村憲一(甲府市教育委員会)
- ◆ P017 津田梅子小袖修復におけるオリジナルを生かした修理方法について
◎大崎綾子(女子美術大学染織文化資源研究所)、中田友紀(津田塾大学津田梅子資料室)、瀬川かおり(女子美術大学)、長井まみ(女子美術大学染織文化資源研究所)
- ◆ P018 菊花文蒔絵香合の保存修復と科学分析
◎松本卓己(鶴見大学大学院)、高橋 奈(鶴見大学大学院)、矢島律子(鶴見大学大学院)
- ◆ P019 滋賀県大津市「おこぼまつり」の人形などの修理
◎和高智美((同)文化創造巧芸)、石井里佳((同)文化創造巧芸)、河村友佳子(国立民族学博物館)、橋本沙知(国立民族学博物館)、日高真吾(国立民族学博物館)
- ◆ P020 国立西洋美術館所蔵《奉納祭壇画：聖三位一体聖母マリア、聖ヨハネと寄進者》の模写を通して
◎松井菜那(東京藝術大学)、土屋裕子(東京藝術大学)
- ◆ P021 山梨県立博物館所蔵「法然上人絵伝」の彩色材料調査と美術史的検討
◎鴈野佳世子(獨協大学)、近藤暁子(山梨県立博物館)、西願麻以(山梨県立博物館)
- ◆ P022 静岡県立美術館所蔵 伊藤若冲筆《樹花鳥獣図屏風》の描画手順の調査報告
◎木下 悠(凸版印刷(株)文化事業推進本部)、荒井 経(東京藝術大学)、大和あすか(東京藝術大学)、須澤芽生(東京藝術大学)、鈴木七実(東京藝術大学)、山口美波(東京藝術大学)
- ◆ P023 東京藝術大学大学美術館所蔵「龍文存星香合」の制作工程に関する研究
—科学調査と復元模造を通じて—
◎楊 曼寧(奈良文化財研究所)、松本達弥(東京藝術大学)
- ◆ P024 仏像文化財の CT スキャンデータを用いた当初造形の検証
◎岡田 靖(東京藝術大学)、宮田将寛(東京国立博物館)、鳥越俊行(東京国立博物館)、大山幹成(東北大学)、門叶冬樹(山形大学)、廣崎 萌(東京藝術大学)
- ◆ P025 新出 木村貞綱筆「十三仏来迎図」の絵画材料と絵画技術からの考察
◎荒木恵信(金沢美術工芸大学)

- ◆ P026 刀装金具に使用された金属と接合方法
◎相原健作(東京藝術大学)、成井美穂(文化学園大学)、原田一敏(ふくやま美術館)
- ◆ P027 初期フランドル絵画の鉛白分布とデッサン基礎技法との比較対照研究
◎民部有桂(東京藝術大学大学院)
- ◆ P028 截金における箔の焼き合わせ効果の科学的検証
◎田中真奈子(昭和女子大学)、中島ひかり(昭和女子大学)
- ◆ P029 江戸後期のパトロネージュの構造解明を目的とした三代歌川豊国「錦昇堂版役者大首絵」の技法材料調査
◎大和あすか(東京藝術大学)、日比谷孟俊(実践女子大学)、田辺昌子(千葉市美術館)、山内れい(那珂川町馬頭広重美術館)、高橋志歩(修復技術者)
- ◆ P030 石川県内出土ガラス小玉の非破壊オンサイト化学組成分析
◎村串まどか(東京電機大学)、毛塚理緒(東京電機大学)、阿部善也(東京電機大学)
- ◆ P031 寺家遺跡出土ガラス関連遺物の非破壊材質分析
◎阿部善也(東京電機大学)、村串まどか(東京電機大学)、四角隆二(岡山市立オリエント美術館)、降幡順子(京都国立博物館)、小嶋芳孝(金沢大学古代文明・文化資源学研究所)
- ◆ P032 大津祭曳山「孔明祈水山」の趙雲人形の鎧の分析
◎橋本沙知(国立民族学博物館)、日高真吾(国立民族学博物館)、園田直子(国立民族学博物館)、末森 薫(国立民族学博物館)、河村友佳子(国立民族学博物館)、和高智美((同)文化創造巧芸)、石井里佳((同)文化創造巧芸)
- ◆ P033 キルギス共和国アク・ベシム遺跡より出土したコインに用いられた材料と産地推定
◎藤澤 明(帝京大学文化財研究所)、アマンバエヴァ バキット(キルギス共和国国立科学アカデミー歴史文化遺産研究所)、三浦麻衣子(帝京大学文化財研究所)
- ◆ P034 正倉院宝物中の青色色料を対象にした近赤外線画像による比較
◎鶴 真美(宮内庁正倉院事務所)、中村力也(宮内庁正倉院事務所)
- ◆ P035 国立民族学博物館所蔵青木文教師将来チベット仏画に用いられた色材の非破壊分析
◎曹 智健(東京藝術大学)、塚田全彦(東京藝術大学)、末森 薫(国立民族学博物館)、小椋聡子(東京藝術大学)
- ◆ P036 白色油絵具の暗所保管による黄変に関する考察
—約30年に渡って黄変した白色油絵具試料を対象に—
◎康 寶允(東京藝術大学)、塚田全彦(東京藝術大学)
- ◆ P037 障壁画下貼紙の層構造と劣化について
◎貴田啓子(東京藝術大学大学院)、高林弘実(京都市立芸術大学)、岡村知明(京都市文化市民局元離宮二条城事務所)、高取伸光(京都大学大学院)、小椋大輔(京都大学大学院)
- ◆ P038 静岡県立美術館所蔵 伊藤若冲筆《樹花鳥獸図屏風》に使用された色材の調査報告
◎荒井 経(東京藝術大学)、大和あすか(東京藝術大学)、須澤芽生(東京藝術大学)、鈴木七実(東京藝術大学)、山口美波(東京藝術大学)、木下 悠(凸版印刷(株))、山下裕二(明治学院大学)
- ◆ P039 産業用 InGaAs カメラを用いた赤外線反射画像撮影：
国立西洋美術館所蔵・オールドマスター作品の下描きを視る
◎高嶋美穂(国立西洋美術館)、浅川真実子(art.u(同))

- ◆ P040 アイヌ絵に用いられた彩色材料の調査
◎古田嶋智子(国立アイヌ民族博物館)、大江克己(国立アイヌ民族博物館)、赤田昌倫(国立アイヌ民族博物館)、霜村紀子(国立アイヌ民族博物館)
- ◆ P041 江戸期民画資料「泥絵」に使用された色材調査報告
◎一宮八重(東京藝術大学)、田口智子(東京藝術大学)、降旗千賀子(&4+do)、水本和美(東京藝術大学)
- ◆ P042 奈良時代乾漆像の科学調査研究 ―聖林寺十一面観音菩薩像の造像材料について
◎朱 若麟(東京藝術大学)、岡田 靖(東京藝術大学)、桐野文良(東京藝術大学)、塚田全彦(東京藝術大学)
- ◆ P043 東京光明寺所蔵羅漢図に使用された彩色材料
◎紀 芝蓮(東京文化財研究所)、犬塚将英(東京文化財研究所)、米沢 玲(東京文化財研究所)、安永拓世(東京文化財研究所)、江村知子(東京文化財研究所)、高橋佳久(北海道博物館)
- ◆ P044 重要文化財「板絵著色廻船入港図額」における銅系彩色材料の変色と紫色の表現について
◎山田卓司(龍谷大学)、生駒 萌(龍谷大学)、西田早弥華(龍谷大学)、北野信彦(龍谷大学)、倉島玲央(東京文化財研究所)、池田 淳(金峯山寺)、池田 晶(金峯山寺)
- ◆ P045 AIによる皮革文化財の動物種判別に関する研究
―未劣化の皮革サンプルを用いた基礎システムの構築―
◎飯岡稚佳子(東京藝術大学)、岡嶋克典(横浜国立大学)、田口智子(東京藝術大学未来創造継承センター)

第2日目 6月25日(日)

- ◇ P046 修理報告書から読み解く装潢文化財の修理方針 ―本格解体修理時の表具の取り扱い―
◎杉山恵助(東北芸術工科大学)、山口紗奈(東北芸術工科大学)
- ◇ P047 実践的模写に資するインド・ラダック仏教寺院壁画のドキュメンテーション
◎末森 薫(国立民族学博物館)、正垣雅子(京都市立芸術大学)、寺井淳一(東京外国語大学)、スカルマ ギュルメット((特非)ジュレー・ラダック)、安室喜弘(関西大学)
- ◇ P048 ハワイ日系仏教寺院の新出資料・文化財に関する調査報告:2020~2023年オアフ島
◎笹岡直美(東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター)、安中尚史(立正大学)、守屋友江(南山宗教文化研究所)、石井清純(駒澤大学)、中原ゆかり(愛媛大学)、平井智親(安国論寺)、南原一貴(曹洞宗総合研究センター)
- ◇ P049 アイヌ民族資料の保存管理にむけた修復部位の現況調査
◎杉山智昭(奈良大学)、鳥越俊行(東京国立博物館)、長田佳宏(平取町立二風谷アイヌ文化博物館)、今津節生(奈良大学)
- ◇ P050 屏風絵における金箔地の研究 ―名古屋市博物館所蔵近世初期屏風群を中心に―
◎阪野智啓(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、本田光子(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)、安井彩子(愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)
- ◇ P051 日本近代彫刻におけるイチイ材の使用に関する一考察
◎宮木菜月(仏教彫刻、保存修復家)

- ◇ P052 ヨルダンハシュミテ王国ウムカイス遺跡の西円形劇場修復調査報告
◎松本 健(国土舘大学)、小野 勇(国土舘大学)、西浦忠輝(国土舘大学)
- ◇ P053 三次元画像解析による興福寺乾漆像における修理技法の研究
—日本美術院による文化財修理の様相—
◎加藤沙弥(奈良大学大学院)、今津節生(奈良大学)、山崎隆之(仏像修復研究家)
- ◇ P054 インド・ラダック地方で発見されたエンサ・ゴンパ仏教壁画の模写
—現地調査に基づく実践的研究—
◎正垣雅子(京都市立芸術大学)、末森 薫(国立民族学博物館)、寺井淳一(東京外国語大学)、
スカルマ ギュルメット((特非) ジュレーラダック)
- ◇ P055 一時的な防水保護材としてのL-メントールの塗膜形成と防水効果の評価
◎岸 創哉(東洋美術学校)、小野慎之介(東洋美術学校)、水落貴志(東洋美術学校)、
松田泰典(東洋美術学校)
- ◇ P056 タンニン酸鉄媒染綿布に対するフノリと膠処置による保存方法の検討
◎ Ajla Redzic(東京藝術大学)、佐藤 萌(東京国立博物館)、一宮八重(東京藝術大学)、
渡邊尚恵((特非) たいとう歴史都市研究会)、早川典子(東京文化財研究所)
- ◇ P057 デンプン糊で裏打ちされる文化財への α -アミラーゼ適用方法に関する検討
◎早川典子(東京文化財研究所)、山中勇人(大阪産業技術研究所)、山田祐子(東京文化財研究所)、
趙 依寧(東京文化財研究所)、上垣浩一(近畿大学)、大本貴士(大阪産業技術研究所)
- ◇ P058 含浸硬化系保護剤を用いたカッパドキア岩石保護の検討
◎佐野勝彦((株) ディ・アンド・ディ)、谷口陽子(筑波大学)、渡辺晋生(三重大学)、伊庭千恵美(京都大学)、
成田朱美(愛知県立芸術大学)、菅原裕文(金沢大学)、高橋香里(東京藝術大学)、小泉圭吾(大阪大学)、
朴 春澤((株) ハイテック)
- ◇ P059 楮紙と宣紙の肌裏紙を用いた日本画掛軸モデル試料における接着性の比較
◎李 壘(東京学芸大学)、江前敏晴(筑波大学)、稲葉政満(東京藝術大学)
- ◇ P060 現代絵画に使用されるコーティング剤の研究
—東京藝術大学 油画科 学生の作品を対象とした調査—
◎岡田裕梨(東京藝術大学)、土屋裕子(東京藝術大学)
- ◇ P061 浸透接着に使用したエポキシ樹脂系接着剤の光劣化による経年変色について
◎藤井茉弥(東京藝術大学)、北野珠子(東京藝術大学)、石原道知(東京藝術大学)、
玉川みほの(東京藝術大学)、ジャンサヤ ヌルスィタン(東京藝術大学)
- ◇ P062 紙文化財補修用材料としての高機能化楮繊維の調製
—砥石摺り合わせの改善と外部フィブリル化処理—
◎西田典由(東京文化財研究所)、貴田啓子(東京藝術大学)、加瀬谷優子(東京藝術大学)、
岩田直美(東京藝術大学)、藤本真人(愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター)、半田昌規((株) 半田九清堂)、
稲葉政満(東京文化財研究所)
- ◇ P063 奈良市念仏寺所蔵の古典籍類に使用された「まめのり」について
◎大橋有佳(元興寺文化財研究所)
- ◇ P064 乾性油における表面保護効果の可能性 —敷曼荼羅の復元制作を通して—
◎田中直子((宗) 醍醐寺)、坂田さところ((株) 坂田墨珠堂)、富澤千砂子((有) 六法美術)

- ◇ P065 桂離宮松琴亭の襖・床壁の藍色紙について
◎長崎紀子(宮内庁京都事務所)
- ◇ P066 染織品および経巻の修復に使用する補修紙の染色方法について
◎永田大輔(宮内庁正倉院事務所)、中村力也(宮内庁正倉院事務所)、福森 弘(宮内庁正倉院事務所)
- ◇ P067 近代の文化財修理に使用された材料・技術に関する調査
◎北野信彦(龍谷大学)、大西功紗(龍谷大学)、倉島玲央(東京文化財研究所)、早川典子(東京文化財研究所)、平田 健(東京都教育委員会)、原真麻子(東京都教育委員会)、浦島利浩(立川市教育委員会)、原田昌幸(文化庁)、弓場重典(普齋寺)
- ◇ P068 紙媒体資料の救済を想定したシミュレーションワークショップの検討と実践
◎天野真志(国立歴史民俗博物館)
- ◇ P069 新規ガラス薄膜形成技術の防燃効果に関する研究
◎星野玲子(鶴見大学)、岩宮陽子((株)超越化研)、里村一人(鶴見大学)
- ◇ P070 水損紙資料から分離されたカビの湿熱処理による殺菌評価
◎佐藤嘉則(東京文化財研究所)、岡部迪子(東京文化財研究所)、轟 丈瑠(東京文化財研究所)
- ◇ P071 カビ汚染紙資料の安定化処理における微酸性電解水の応用
◎小野慎之介(東洋美術学校)、西 舞子(東洋美術学校)、高鳥浩介((特非)カビ相談センター)、松田泰典(東洋美術学校)
- ◇ P072 国立民族学博物館における映画フィルムの保存管理
◎園田直子(国立民族学博物館)、末森 薫(国立民族学博物館)、日高真吾(国立民族学博物館)、橋本沙知(国立民族学博物館)、河村友佳子(国立民族学博物館)、河野広恵(国立民族学博物館)、小阪真由(国立民族学博物館)、和高智美((同)文化創造巧芸)
- ◇ P073 カビ被害が発生した収蔵環境の考察 ―環境調査と資料保存活動記録に基づいて―
◎河村友佳子(国立民族学博物館)、園田直子(国立民族学博物館)、日高真吾(国立民族学博物館)、末森 薫(国立民族学博物館)、橋本沙知(国立民族学博物館)、和高智美((同)文化創造巧芸)
- ◇ P074 空気質特性を考慮した資料保管用中性紙箱の適切な使用方法に関する検証
◎松井敏也(筑波大学)、建石 徹(東京文化財研究所)、和田 浩(東京国立博物館)
- ◇ P075 SNS を利用した仏像のフォトグラメトリーにおける検証と考察
◎山田 修(奈良県立大学)、竹下繭子(なら歴史芸術文化村)、岡田 靖(東京藝術大学)
- ◇ P076 美術館における展示収蔵環境のアンモニア低減対策
◎田中 勲(清水建設(株)技術研究所)、矢野慧一(清水建設(株)技術研究所)、富田賢吾(清水建設(株)技術研究所)、杉山和弥(清水建設(株)技術研究所)、高山哲郎(清水建設(株)技術研究所)
- ◇ P077 マダラシミおよびニューハクシミに対するベイト剤の殺虫効果
◎小野寺裕子(東京文化財研究所)、島田 潤(東京文化財研究所)、渡辺祐基(九州国立博物館)、小峰幸夫(奈良国立博物館)、木川りか(九州国立博物館)、佐藤嘉則(東京文化財研究所)
- ◇ P078 高濃度ホルムアルデヒドの染料等に与える影響について
◎芳賀文絵(東京文化財研究所)、川野邊渉(東京文化財研究所)、秋山純子(東京文化財研究所)、千葉 毅(東京文化財研究所)、建石 徹(東京文化財研究所)

- ◇ P079 「守りながら魅せる」公開活用型収蔵庫の設計検討に関する報告
—総本山智積院宝物館を事例として—
◎一ノ瀬裕行((株)丹青研究所)、小林宜文((株)丹青研究所)、青島 彩((株)丹青研究所)、
植松みさと((株)丹青研究所)、藤原 工((株)灯工舎)、竹貫友佳子(真言宗智山派総本山智積院)、
井上真美(真言宗智山派総本山智積院)、藤間温子(真言宗智山派総本山智積院)
- ◇ P080 文化財害虫の歩行パターン解析手法の検討
◎渡辺祐基(九州国立博物館)、木川りか(九州国立博物館)
- ◇ P081 空気汚染物質の放散が少ない材料を用いた展示台の試作と検証
◎和泉田絢子(九州国立博物館)、渡辺祐基(九州国立博物館)、桑原有寿子(九州国立博物館)、
松尾実香(九州国立博物館)、山本花乃(九州国立博物館)、木川りか(九州国立博物館)
- ◇ P082 浄土宗総本山知恩院境内施設の保管環境に関する調査
◎降幡順子(京都国立博物館)、井並林太郎(京都国立博物館)、中屋菜緒(京都国立博物館)、
近藤無滴(京都国立博物館)、前田昌信(浄土宗総本山知恩院)、関 良法(浄土宗総本山知恩院)、
三枝樹典子(浄土宗総本山知恩院)、北村まどか(浄土宗総本山知恩院)
- ◇ P083 校倉内におけるシミ類の季節消長
◎高畑 誠(宮内庁正倉院事務所)、中村力也(宮内庁正倉院事務所)
- ◇ P084 常設展示室展示ケースの空気環境対策
◎山崎正彦(光明理化学工業(株))、三浦夏樹(高知県立坂本龍馬記念館)
- ◇ P085 美術館における冬季の館内温湿度と熱源消費電力の測定
—博物館・美術館での保存環境維持と省エネルギーの両立に向けて—
◎秋山純子(東京文化財研究所)、水谷悦子(東京文化財研究所)、相馬静乃(東京文化財研究所)、
伊庭千恵美(京都大学)
- ◇ P086 特別史跡王塚古墳石室内および保存施設の温湿度環境
◎加藤和歳(九州歴史資料館)、小林 啓(九州歴史資料館)、尾園 晃(桂川町教育委員会)、
長安 慧(桂川町教育委員会)
- ◇ P087 X線CTを用いた博物館資料の保管用支持具の設計 —アイヌ民族資料「イノウ」を対象として—
◎大江克己(国立アイヌ民族博物館)、竹内隼人(国立アイヌ民族博物館)、八幡巴絵(国立アイヌ民族博物館)、
中井貴規(国立アイヌ民族博物館)
- ◇ P088 漫画原画に使用されるカラーインクへのLED照射実験報告
◎高橋典子((株)灯工舎)、藤原 工((株)灯工舎)、雷句 誠(BIRGDINBOARD(株))
- ◇ P089 展示ケース内で使用されるクロス材からのアンモニア放散と原因等に関する調査研究
◎吉田直人(国立文化財機構文化財活用センター)、間瀬 創(国立文化財機構文化財活用センター)
- ◇ P090 AR技術を用いた文化財の履歴情報の利活用に関する基礎的研究
◎和田 浩(東京国立博物館)、川村洋平(北海道大学)、村上誠弥(秋田大学)、鳥屋剛毅(秋田大学)、
柏谷佳洋((株)時空観測)

特別ポスターセッション

- 特1 エジプト・サッカー遺跡における関西大学の文化遺産保存修復プロジェクト
吹田 浩 (関西大学)、鶴田浩章 (関西大学)、安室喜弘 (関西大学)、吹田真里子 (関西大学)、
西浦忠輝 (国土館大学)、中村吉伸 (大阪工業大学)、肥後時尚 (金沢大学)、末森 薫 (国立民族学博物館)
- 特2 ゲームエンジンを援用した壁画復元作業の支援
—エジプト・サッカー遺跡・イドゥートのマスタバ地下埋葬室でのケーススタディー—
角田直嵩 (関西大学)、村岡叶夢 (関西大学)、安室喜弘 (関西大学)、吹田真里子 (関西大学)、
吹田 浩 (関西大学)、鶴田浩章 (関西大学)、肥後時尚 (金沢大学)、末森 薫 (国立民族学博物館)
- 特3 簡易3次元スキャンと Web アプリを用いた文化財資源情報の利活用
—猪名川町多田銀銅山遺跡でのケーススタディー—
安室喜弘 (関西大学)、青木美香 (関西大学)、小山倫史 (関西大学)、角田直嵩 (関西大学)、
村岡叶夢 (関西大学)、肥後時尚 (金沢大学)、末森 薫 (国立民族学博物館)

公開シンポジウム

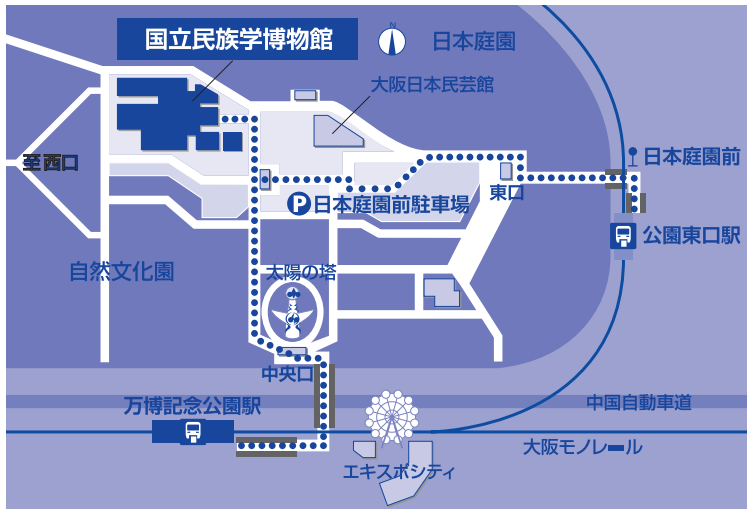
博物館・美術館における保存環境管理の現在 —脱炭素化に向けた資料保存を考える—

開催日	2023年6月23日(金)
会場	国立民族学博物館 講堂
開催方式	会場参加(300名)とオンライン配信のハイブリット形式
主催	文化財保存修復学会
共催	国立民族学博物館 人間文化研究機構 基幹研究「地域文化の効果的な活用モデルの構築」
後援	日本文化財科学会

プログラム

総合司会	和田 浩(東京国立博物館)
12:30	開場
13:00	開会挨拶 本田光子(文化財保存修復学会理事長)
	趣旨説明 末森 薫(国立民族学博物館)
13:10	基調講演 国立民族学博物館における空調管理・運用の実践 園田直子(国立民族学博物館)
13:45	休憩
14:00	事例報告 国立アイヌ民族博物館が導入した空調設備の特徴と運用方法 大江克己(国立アイヌ民族博物館)
14:25	事例報告 福岡市美術館のリニューアルにともなう空調設備の改修 渡抜由季(福岡市美術館)
14:50	事例報告 三重県総合博物館における地中熱を用いた空調管理の仕組み・運用 甲斐由香里(三重県総合博物館)
15:15	休憩
15:30	パネルディスカッション モデレーター:末森 薫 パネラー:大江克己・渡抜由季・甲斐由香里
16:30	閉会挨拶 日高真吾(国立民族学博物館学術資源研究開発センター長)

会場案内



国立民族学博物館

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10番1号

<https://www.minpaku.ac.jp/>

口頭発表・総会会場

みんぱくインテリジェントホール（講堂）

サテライト会場

第4・第5セミナー室（本館2階）

ポスター発表会場・機器等展示会場

特別展示館

交通案内

■大阪モノレールをご利用の方

「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分

■バスをご利用の方

阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分

■乗用車をご利用の方

万博記念公園の駐車場（有料）をご利用ください。最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

※所要時間は交通状況により異なります。

※宿泊、交通手段につきましては、各自お早めにご手配ください。

第45回大会プログラム作成委員会

委員長：間瀬 創（国立文化財機構文化財活用センター）

副委員長：末森 薫（国立民族学博物館）

委員：相澤邦彦（ヤマト運輸美術品ロジスティクスチーム）／秋山純子（東京文化財研究所）／

荒井 経（東京藝術大学）／大西智洋（大西漆芸修復スタジオ）／加藤和歳（九州歴史資料館）／

鴈野佳世子（帝京大学）／佐藤嘉則（東京文化財研究所）／中村力也（宮内庁正倉院事務所）／

早川典子（東京文化財研究所）／日高真吾（国立民族学博物館）／和田 浩（東京国立博物館）

*お問い合わせや伝達事項につきましては大会事務局までご連絡ください。

文化財保存修復学会第45回大会 於大阪

実行委員会

委員長：園田直子（国立民族学博物館）

副委員長：本田光子（九州国立博物館名誉館員）

委員：荒井経（東京藝術大学）／大西智洋（大西漆芸修復スタジオ）／岡岩太郎（(株)岡墨光堂）／加藤和歳（九州歴史資料館）

河村友佳子（国立民族学博物館）／末森薫（国立民族学博物館）／西澤昌樹（国立民族学博物館）／橋本沙知（国立民族学博物館）

日高真吾（国立民族学博物館）／間渕創（国立文化財機構文化財活用センター）／安室喜弘（関西大学）／和田浩（東京国立博物館）

和高智美（合同会社文化創造巧芸）

大会事務局：〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1 国立民族学博物館内 3階 公益財団法人千里文化財団気付
一般社団法人文化財保存修復学会大会実行委員会事務局

URL：https://jsccp.or.jp/taikai45/

e-mail：taikai45@jsccp.or.jp TEL：06-6877-8893 FAX：06-6878-3716

担当者は開催2か月前からの常駐予定（セカンドサーキュラー送付後の平日10時～17時）。それ以前につきましては
用務に応じての在席となりますので、お問い合わせは、なるべくメールまたはFAXにてお願いいたします。

学会事務局：〒110-0008 東京都台東区池之端 4-14-8-102 特定非営利活動法人文化財保存支援機構気付

TEL：03-6661-2982 FAX：03-6661-2983

本学会は学会事務と大会開催事務を別業務として行っています。

学会事務局には大会担当者はおりませんので、大会についてのお問い合わせは大会事務局へお願いいたします。